



製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いには故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

ビジネスインクジェットプリンター共通の内容のため、お使いの製品に搭載されていない部品やオプション品の説明も含まれています。

記号の意味

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。		この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。
	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	分解禁止を示しています。		濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	製品が水に濡れることの禁止を示しています。		電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	特定の場所に触れることの禁止を示しています。		アース接続して使用することを示しています。

設置

警告	
	<p>本製品の通風口を塞がないでください。 通風口を塞ぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。印刷動作やメンテナンスのため、プリンターの前面と左右に必要なスペースを空けてください。 📖 『ユーザーズガイド』 - 「仕様」</p>





注意	
	<p>不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。</p> <p>油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気が多い場所に置かないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>本製品はお客様自身での移動はしないでください。</p> <p>本製品やオプション品の、キャスターやアジャスターボルトを固定したまま移動させないでください。 転倒などによる事故のおそれがあります。</p>

電源




警告	
	<p>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p> <p>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。</p> <p>電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。</p>
	<p>漏電事故防止のため、電源コードにアース線が付いている製品は、接地接続を行ってください。 アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コンセントのアース端子 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物 接地工事（D 種）を行っている接地端子 <p>アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店に相談してください。</p>
	<p>AC100V 以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。</p> <p>本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししたり、漏電ブレーカーをオフにしたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p> <p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。電源コードが破損したときは、販売店またはエプソンの修理窓口に相談してください。また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードを加工しない 電源コードに重いものを載せない 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 熱器具の近くに配線しない <p>次のような場所にアース線を接続しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ガス管（引火や爆発の危険があります） 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）



注意	
	<p>長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

取り扱い

⚠ 警告	
	<p>異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談してください。</p>
	<p>マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。</p>
	<p>製品内部の、操作パネルやマニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。 雷が鳴り出したら、電源コンセントや電話回線に接続されている機器（製品本体、電源コード、電源アダプター、AC アダプター、充電器、バッテリー、電話線）に触れないでください。 感電のおそれがあります。</p>
	<p>液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。(液晶ディスプレイがある製品) 万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。 </p>

インクカートリッジ（またはインクパック）とメンテナンスボックスの取り扱い

⚠ 注意	
	<p>インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、速やかに医師に相談してください。 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。 インクカートリッジ（またはインクパック）やメンテナンスボックスは、子どもの手の届かない場所に保管してください。 </p>
	<p>インクカートリッジ（またはインクパック）やメンテナンスボックスを分解しないでください。 分解するとインクが目に入ったたり皮膚に付着するおそれがあります。</p>
	<p>インクカートリッジ（またはインクパック）は強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジ（またはインクパック）からインクが漏れるおそれがあります。</p>

⚠ 注意	
	<p>使用時は、本製品やオプション品の、キャスターやアジャスターボルトを必ず固定してください。 固定していない場合、事故の原因となります。 各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。 カバーを開閉したり、トレイやカセットを引き出したり、内部を操作したりするときは、手や指を挟まないように注意してください。 けがをするおそれがあります。</p>
	<p>印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。 本製品やオプション品の上に乗ったり、重いものを置いたりしないでください。 特に、子どものいる家庭ではご注意ください。 倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。 電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近づけないでください。 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。 詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。 急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。 本製品やオプション品に貼られている注意ラベルで示す箇所には触れないでください。</p>